



Hewlett Packard
Enterprise

Hewlett Packard Enterprise System Management Homepage 7.5 Update 5 リリースノート

HP-UX、Linux、および Windows オペレー ティングシステム

摘要

Hewlett Packard Enterprise System Management Homepage (HPE SMH) は、HP-UX、Linux、および Microsoft Windows のオペレーティングシステム上で動作する、Hewlett Packard Enterprise サーバー用の単一のシステム管理を統合して簡素化する Web ベースのインターフェイスです。HPE SMH は、Web エージェントや、以下のような Hewlett Packard Enterprise Web ベースシステムマネジメントソフトウェアからのデータを集約して表示できます。

- HPE Insight Diagnostics
- アレイコンフィギュレーションユーティリティ、HPE Smart Storage Administrator
- HP ソフトウェアバージョンコントロールエージェント

このリリースノートは、システム管理者および HPE SMH のあらゆるレベルのユーザー用です。

部品番号: 698156-199

2016 年 5 月

第 1 版

© Copyright 2004, 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

商標

Adobe® および Acrobat® は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Itanium® はインテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

Java は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Citrix® および XenDesktop® は、Citrix Systems, Inc および/またはその子会社および関係会社の商標です。米国特許商標庁およびその他の国で登録される場合があります。

VMware® ESX® および ESXi™ は、VMware, Inc.の米国および各国での登録商標または商標です。

Oracle は、Oracle Corporation および/またはその関連会社の登録商標です。他の名称は、各社の商標である可能性があります。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

目次

| | |
|---|----|
| 1 機能 | 4 |
| 製品の機能..... | 4 |
| Partition Manager..... | 5 |
| 利用可能な IP アドレス..... | 5 |
| SMH に統合されたアプリケーション..... | 5 |
| 2 既知の問題、制限事項、および回避策 | 9 |
| Windows および Linux 用の SMH..... | 9 |
| 3 サポートと他のリソース | 15 |
| Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス..... | 15 |
| アップデートへのアクセス..... | 15 |
| ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録..... | 16 |
| ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法..... | 16 |
| 保証情報..... | 16 |
| Hewlett Packard Enterprise 製品販売店..... | 16 |
| Web サイト..... | 16 |
| カスタマーセルフリペア..... | 17 |
| リモートサポート (HPE 通報サービス)..... | 17 |
| ドキュメントに関するご意見、ご指摘..... | 17 |
| System Management Homepage (SMH) のドキュメントの詳細..... | 17 |
| 4 内容の更新、リリースの更新、およびこのドキュメントのエディションにおける新規または変更された情報 | 18 |
| Linux および Windows 用 2016 年 4 月リリース..... | 18 |
| Linux および Windows 用 2015 年 8 月リリース..... | 18 |
| Linux および Windows 用 2015 年 3 月リリース..... | 19 |
| Linux および Windows 用 2013 年 12 月リリース..... | 19 |
| Linux および Windows 2013 年 10 月リリース..... | 19 |
| Linux および Windows 2013 年 1 月リリース..... | 20 |
| Linux および Windows 2012 年 6 月リリース..... | 20 |
| Linux および Windows 2012 年 2 月リリース..... | 21 |
| Linux および Windows 用 2011 年 4 月リリース..... | 22 |
| Linux および Windows 用 2010 年 9 月リリース..... | 22 |
| Linux および Windows 用 2010 年 3 月リリース..... | 23 |
| Linux および Windows 用 2009 年 11 月リリース..... | 23 |
| Linux および Windows 2009 年 1 月リリース..... | 24 |
| 5 Hewlett Packard Enterprise が所有していないソフトウェアコンポーネントについてのセキュリティ報告およびアラートポリシー | 26 |
| セキュリティ報告への登録..... | 26 |
| 6 関連情報 | 27 |
| SMH ドキュメント..... | 27 |
| HP-UX ドキュメント..... | 28 |

1 機能

Hewlett Packard Enterprise System Management Homepage (HPE SMH) は、HP-UX、Linux、および Microsoft Windows のオペレーティングシステム上で動作する、Hewlett Packard Enterprise サーバー用の単一のシステム管理を統合して簡素化する Web ベースのインターフェイスです。SMH は、Web エージェントや、以下のような Hewlett Packard Enterprise Web ベースシステムマネジメントソフトウェアからのデータを集約して表示できます。

- HPE Insight Diagnostics
- アレイコンフィギュレーションユーティリティ、HPE Smart Storage Administrator
- HP ソフトウェアバージョンコントロールエージェント

System Management Homepage (SMH) for HP-UX、Linux、および Windows では、「[製品の機能](#)」で説明される機能が提供されます。特に断りがない限り、これらはすべてのリリースに適用されます。

製品の機能

以下は、System Management Homepage (SMH) が製品としてサポートする機能のリストです。

- Linux および Windows の Secure Sockets Layer (SSL) を使用した、Insight マネジメントエージェントのセキュリティを提供します。
- Web ベースアプリケーションおよび SSL を使用したセキュリティを提供します。
- 信頼モードのレベルを構成できます。
- ユーザーグループアカウントを通して、システムへのユーザーアクセスを管理します。
- SMH に情報を提供するすべての Web ベースシステムマネジメントエージェントソフトウェアを表示します。
- Insight マネジメントエージェントとユーティリティ用の共通 HTTP および HTTPS サービスによって、複雑さとシステムリソース要件を緩和。
- HTTP セキュリティと Hewlett Packard Enterprise マネジメントアップデートを実装するための簡素化されたアーキテクチャー。
- ネットワークインターフェイスカード (NIC) のバインドと高度な構成機能を用いたアクセス制御 (個人およびユーザーグループ用)。
- オペレーティングシステムとブラウザの幅広いサポート。
- smhassist による自動ログ収集。
この機能は、HP-UX 11i v2 および HP-UX 11i v3 システムでのみ利用できます。
- コマンドラインインターフェイス (CLI) - smhconfig - 管理者権限のアクセスが出来るユーザーに、コマンドラインから値を設定する手段を提供します。
- ポート 2301 の無効化機能。
- SMH で実行されたログインおよびログアウトに関する動作の syslog への記録。
この機能は、HP-UX 11i v2 および HP-UX 11i v3 システムでのみ利用できます。
- SMH および WebApps 用の一元管理された API ログ：表示および監査用に SMH とその WebApps 両方のクリティカルイベントとメジャーイベントをシステムログに記録するためのオプションを提供します。
- 詳細ロギング：この機能を有効または無効にするオプションが用意されています。この機能を有効にすると、完全なログ情報を確認できます。

- SMH 構成パラメーターは parameter タグに記載され、対応する説明は user_prompt タグに記載されています。

Partition Manager

Partition Manager を開始するには、Administrator (root) 権限を持つユーザーが parmgr コマンドに -b オプションを付けて実行すると SMH の認証を省略できます。HP-UX 11i v1 でこの機能を使用するには、Software Depot Web サイト **Hewlett Packard Enterprise Software Depot** から入手できる KRNG11i (HP-UX 11i v1 用の Strong Random Number Generator ソフトウェア) バンドルを入手してインストールする必要があります。

利用可能な IP アドレス

HP-UX では、autostart モードが有効のときにポート 2301 を通じたアクセスでは、利用可能な IP アドレスの一覧の変更が検出されます。以前のリリースでは、SMH へのアクセスに使用できる IP アドレスは、システムの起動時に定義された IP アドレスのみでした。IP アドレスが新しく定義されると、その IP アドレスを使用するために SMH を再起動しなければなりませんでした。

今回 SMH に新しい機能が追加されたため、クラスターおよび非クラスター環境で利用可能な IP アドレスのリストが変更されると、SMH が自動的に再構成され、必要な場合は再起動します。新しいネットワークカードの有効化、ifconfig でのエイリアスの追加、クラスターパッケージのフェイルオーバーなどの環境の変化があると、この機能が起動します。

この機能を無効にする場合は、/opt/hpsmh/conf.common/smhpd.xml ファイルに以下の行を追加します。<monitor-ip-changes></monitor-ip-changes>

詳しくは、<http://www.hpe.com/info/hpux-core-docs> の製品リストから [HP-UX 11i v2] を選択するとアクセスできる『Distributed Systems Administration Utilities V1.1 Release Notes for HP-UX 11i v2 March 2006』を参照してください。

SMH に統合されたアプリケーション

SMH は、多数の統合されたアプリケーションのためのフレームワークです。SMH は、単一ユーザーインターフェイスおよび SMH GUI (グラフィカルユーザーインターフェイス) を使用して以下のシステム管理機能を提供します (「SMH に統合されたアプリケーション」(5 ページ) を参照してください)。

- ① **重要:** HP-UX で実行される SMH には、Authenticated Commands (PAM)、Resource Management、Network Services Configuration など、Web ベースではないアプリケーションがいくつかあります。そのようなアプリケーションに SMH からアクセスするには、コンピューターで X-Windows アプリケーションを実行し、コンピューターの IP アドレスをアプリケーションの起動ページの [DISPLAY] テキストボックスに入力する必要があります。

表 1 SMH に統合されたアプリケーション

| アプリケーション名 | オペレーティングシステム | アプリケーションの説明 |
|---|--------------|--|
| Accounts for Users and Groups (ugweb) | HP-UX | HP-UX Accounts for Users and Groups (ugweb) ツールは、ローカルシステム、Network Information Service (NIS) システム、および LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバー上でユーザーアカウントとグループを管理する、Web ベースのシングルシステム管理ツールです。詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |
| Auditing and Security Attributes Configuration (secweb) | HP-UX | HP-UX Auditing and Security Attributes Configuration ツールは、システムを信頼モードに変換することなく、セキュリティ属性の構成および管理と監査サブ |

表 1 SMH に統合されたアプリケーション (続き)

| アプリケーション名 | オペレーティングシステム | アプリケーションの説明 |
|--|--------------|--|
| | | システムの構成および管理を行うためのツールです。 詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |
| Authenticated Commands (PAM) | HP-UX | Pluggable Authentication Modules (PAM) を使うと、アカウントの認証、パスワード認証、セッション認証、およびユーザー認証を構成できます。 |
| Disks and File Systems (fsweb) | HP-UX | Disks and File Systems (fsweb) ツールは、論理グループおよびボリュームグループの管理、ディスク管理タスク、およびファイルシステムタスクなどのシステム管理タスクをサポートします。 fsweb ツールは、ファイルシステム Cache File System (CFS)、Compact Disc File System (CDFFS)、Common Internet File System (CIFS)、Hierarchical File System (HFS)、Network File System (NFS)、および Veritas File System (VxFS) をサポートします。 詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |
| Distributed System Authentication Utilities (DSAU) | HP-UX | Distributed Systems Administration Utilities は、システムのグループおよび Serviceguard クラスターの管理を簡略化するためのいくつかのツールを提供します。 同期の構成、一元管理されたログ、およびシステムログの表示を構成します。 |
| Event Monitoring Service (Web ベース) (EMSweb) | HP-UX | EMSWeb ツール (バンドル EventMonitorGUI) を使うと、システム上のリソースを監視する要求を管理できます。 ユーザーは、EMSWeb ツールを使用して、リソース監視要求を作成および管理できます。 |
| Error Management Technology (EMT) | HP-UX | Error Management Technology は、すべてのシステムエラーについて、エラー/原因/対処情報にすばやく容易にアクセスする方法を提供します。 エラーデータのクエリまたはカスタマイズに使用します。 |
| EVWEB | HP-UX | EVWEB は、System Fault Management (SFM) のユーザーコンポーネントです。 evweb を使用すると、HP-UX システムで生成されるさまざまな Web ベースエンタープライズ管理 (WBEM) イベントを表示および管理することができます。 詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |
| IPMI Event Viewer | HP-UX | ハードウェアイベントを表示します。 |
| Kernel Configuration (kcweb) | HP-UX | kcweb ツールは、HP-UX カーネルの構成とパラメーターで制御されるカーネルリソースの消費を監視できます。 詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |

表 1 SMH に統合されたアプリケーション (続き)

| アプリケーション名 | オペレーティングシステム | アプリケーションの説明 |
|--|---------------------------|---|
| Network Interfaces Configuration | HP-UX | Network Interfaces Configuration は、HP-UX がインストールされているシステムのネットワークインターフェイスを構成することができる Web ベースシステムのシステム管理ツールです。 詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |
| Network Services Configuration (ncweb) | HP-UX | ncweb ツールは、ネットワークサービスを構成するツールです。 詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |
| Partition Manager (parmgr) | HP-UX Linux Windows | Partition Manager (parmgr) は、システム管理者がサーバーシステムに nPartition を構成、管理するための便利なグラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) を提供する Web ベースのアプリケーションです。 Partition Manager は、いくつかの種類の構成の問題を検出することもできます。 詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |
| Peripheral Devices Configuration (pdweb) | HP-UX | pdweb ツールは、olrad コマンドで報告される OLRAD 機能を持つ PCI スロットおよび ioscan コマンドで報告される Peripheral Device を表示および管理します。 リストからスロット/デバイスを選択すると、選択したデバイス/スロットに関する情報が表示されます。 OLRAD 機能を持つカードのオンラインでの追加/置換/削除、ioscan コマンドで報告されるデバイスの表示、およびデバイス特殊ファイルの再インストール (可能な場合) を実行することができます。 詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |
| Printer Management | HP-UX | プリンターまたはプロッターの構成、印刷要求の管理、およびプリントスプーラー構成の保存または復元を行います。 |
| Resource Management | HP-UX | Event Monitoring Service を使用すると、管理されたノードのリソース監視要求を構成および表示できます。 |
| Resource Monitor | HP-UX | モニターの表示構成、および X サーバーの構成を行います。 |
| Role-based Access Control (RBAC) | HP-UX | 適切な権限と非ルートユーザーおよびグループにそれらを割り当てることで役割を作成して、管理者権限を配布することを可能にします。 |
| Security Attributes Configuration (secweb) | HP-UX | secweb ツールを使用すると、ローカルおよび Network Information Service (NIS) ユーザーのセキュリティ属性の値をシステム全体で構成したり、ユーザーごとに構成したりすることができます。 詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。 |

表 1 SMH に統合されたアプリケーション (続き)

| アプリケーション名 | オペレーティングシステム | アプリケーションの説明 |
|---|----------------|--|
| Serviceguard Cluster - Serviceguard Manager | HP-UX Linux | <p>Serviceguard は、HPE 9000 および HPE Integrity サーバーのハイアベイラビリティクラスターを作成することができます。</p> <p>コンポーネント障害のイベントでは、Serviceguard は、サービスの停止を避けるために、他の利用可能なコンポーネントにサービスプロセスを転送するのを調整することによって、ネットワーク、ハードウェア、またはソフトウェアの問題を回避します。</p> <p>Serviceguard Manager は、Serviceguard のグラフィカルユーザーインターフェイスです。</p> <p>これにより、Serviceguard クラスターの監視、管理、および構成をすることができます。</p> <p>詳しくは、製品のオンラインヘルプを参照してください。</p> |
| Software Management | HP-UX | <p>デポのコピー、ソフトウェアのインストール、デポの表示、インストール済みソフトウェアの表示、デポの削除、およびインストール済みソフトウェアの削除を行います。</p> |
| Time | HP-UX | <p>システムクロックの設定、NTP クライアントネットワークの一覧、および NTP ネットワークタイムソースを表示します。</p> |

2 既知の問題、制限事項、および回避策

この章では、System Management Homepage (SMH) の複数のバージョンに関するさまざまな問題、制限事項、およびその回避策の詳細について説明します。

SMH は、各バージョンの製品のリリース前に厳密なテストを行っています。Hewlett Packard Enterprise の最近のテストにより、以下のような注意すべき事項が見つかりました。また既知の問題については、System Management Homepage のインストールおよび System Management Homepage のオンラインヘルプを参照してください。

Windows および Linux 用の SMH

- **問題：**Internet Explorer 8 Windows (32 ビット) でポート 2301 が次のエラーを提示します。

Unable to complete your request due to added security features (追加されたセキュリティ機能のため、リクエストを完了できません)

回避策：信頼済みサイトに SMH の IP アドレスを追加すると、ポート 2301 が正常に動作します。

- **問題：**ユーザーが SMH ブラウザーセッションをサインアウトすることなく閉じるかまたは中断すると、SMH の認証が脆弱になります。

説明：ユーザーが SMH の Web ページにログインすると、SMH はその特定のブラウザーセッション用に新しいユーザー番号と UUID を作成します。SMH の Web ページは、新しいユーザー番号と UUID に基づいて新しい Cookie を作成します。この Cookie は発生するすべての通信中の検証に使用されます。また、セッションの終了を定期的にチェックするためにも使用されます。また、アクティブなすべての SMH セッションを追跡するセッションテーブルにはエントリが追加されます。

SMH のブラウザーセッションがサインアウトなしで閉じられるか中断されると、その特定のセッション情報は、Cookie チェックの間隔が経過するまでセッションテーブルから削除されません。このため、セッションが時間切れになる前に、ハッカーがこの Cookie を使用して SMH ブラウザーにログインし、SMH の認証を脆弱化する可能性があります。

回避策：すべてのユーザーが、毎回、セッションからのサインアウトというベストプラクティスに従う必要があります。

- **問題：**SMH の一部のヘルプページを表示するために Java プラグインが必要であり、有効になっている必要があります。

説明：RHEL6 を除くすべての Linux ディストリビューションでは、OS の完全インストールを実行しても、Java プラグインを利用できないか、デフォルトで有効になっていません。このため、RHEL6 を除くすべての Linux フレーバーで、SMH の一部のヘルプページの内容が表示されません。Firefox では、SMH が正常に動作するために Java プラグインが必要であることをユーザーに知らせるエラーメッセージのポップアップウィンドウが表示されず、単に空白のヘルプページが表示されます。ただし、Microsoft Internet Explorer では、そのような場合に、Firefox ブラウザーでは表示されない Java エラーメッセージが表示されます。

また、Java プラグインを有効にしないと一部のヘルプページが表示されないという問題は、SMH サーバーの IP が信頼済みサイトのリストに追加されており、その信頼済みサイトで Java スクリプトが無効になっている場合に発生します。この問題は、SLES10 SP4 に関して、IE ブラウザーと FF ブラウザーの両方で見られます。

回避策：この問題を回避するには、Java プラグインを Firefox ブラウザーにインストールし、このブラウザーで Java スクリプトを有効にします。この問題は、今後の SMH のリリースで解決される予定です。

- 問題：**パスワードが Web ブラウザーに保存され、入力される場合があります。

回避策：ブラウザーキャッシュをクリアすることにより、古いパスワードを削除し、入力されないようにします。
- 問題：**Windows Server 2003 R2 SP2 において、boot.ini ファイルで /3GB パラメーターを使用すると、System Management Homepage (SMH) または DHCP クライアントサービスのパフォーマンスが低下する場合があります。

説明：Windows Server 2003 R2 SP2 を実行する HPE ProLiant サーバーにおいて、boot.ini ファイルで /3GB パラメーターを使用すると、アプリケーションパフォーマンスが低下する場合があります。/3GB パラメーターは、4 GB メモリアドレス範囲内で 3 GB のメモリをアプリケーションに割り当て、1 GB のメモリをオペレーティングシステムカーネルに割り当てます。デフォルトでは、均等に 2 GB と 2 GB が割り当てられます。このため、boot.ini ファイルで /3GB パラメーターを使用すると、System Management Homepage (SMH) または DHCP クライアントサービスのアプリケーションパフォーマンスが低下する場合があります。

回避策：Microsoft 社では、boot.ini ファイルで /3GB パラメーターを使用することにより一部のアプリケーションに問題が発生する場合があるため、/3GB パラメーターを使用せずに、デフォルトの 2 GB/2 GB 構成を使用することを推奨しています。詳しくは、Microsoft 社のナレッジベースの Web サイト <http://support.microsoft.com/kb/316739> を参照してください。
- 問題：**SMH 6.x および 7.x バージョンで、Windows オペレーティングシステムにおいて例外が生成され、表示されます。

説明：ダンプファイル作成機能が有効になっている一部の最新バージョンの Windows オペレーティングシステムにおいて、特定の状況下 (HPE Web Inspect ツールによる脆弱性スキャンの実行中など) に、SMH 6.x および 7.x バージョンで例外が生成され、表示されます。このような例外により、システムデフォルトディレクトリにダンプが作成されます。これらのファイルには、機密情報が含まれています。ダンプファイルは、Windows オペレーティングシステム上の C:\ProgramData\Microsoft\Windows\WER\ReportQueue などのシステムデフォルトディレクトリに作成される場合があります。アプリケーションを使用して何らかの制限された操作を実行すると、システムデフォルトディレクトリにダンプファイルが作成されます。これは、通常、Apache ベースのシステムで発生します。Apache Web サーバーを中心として構築されている SMH は、何らかの制限された操作によって未処理例外が発生するたびに、機密情報が含まれたダンプファイルを作成します。

回避策：この問題の解決方法は、Apache Software Foundation によって提供される予定です。ただし、Windows オペレーティングシステムで提供されているいくつかのコマンドおよびオプションによって、ダンプファイルの作成を無効化またはリダイレクトすることができます。

[コマンドラインインターフェイスを使用:]

 - ダンプファイルの作成を無効にするには、`wmic recoveros set DebugInfoType = 0` コマンドを実行します。
 - ダンプファイルの作成場所をリダイレクトするには、`wmic recoveros set DebugFilePath = <file_path>` コマンド (ここで <file_path> はダンプファイルの新しい作成場所) を実行します。

詳しくは、Microsoft 社のナレッジベースの Web サイト <http://support.microsoft.com/kb/307973> を参照してください。

[コントロールパネルを使用:]

一部のバージョンの Windows 2008 では、同じ機能を 2 つの異なる方法で実行できます。

[方法 1:]

1. **[スタート]**メニューから、**[コントロールパネル]**⇒**[アクションセンター]**（**[システムとセキュリティ]**カテゴリ内）の順に選択します。
2. **[メンテナンス]**をクリックします。
3. **[設定]**をクリックします。
4. **[すべてのユーザーのレポート設定を変更する]**をクリックし、**[解決策を確認しない]**を選択します。

[方法 2:]

1. **[スタート]**メニューから、**[コントロールパネル]**⇒**[システムとメンテナンス]**の順に選択します。
2. **[問題のレポートと解決策]**をクリックします。
3. **[設定の変更]**をクリックします。
4. **[設定の変更]**ページで、**[詳細設定を行います]**をクリックします。
5. **[詳細設定]**ページで、**[すべてのユーザーとプログラムに対して、問題レポート機能は、各ユーザーによる設定の選択を許可します]**メニュー項目の**[設定の変更]**オプションを選択します。
6. **[無効にします]**を選択して、**[OK]** をクリックします。
7. **[詳細設定]**ページで、**[OK]** をクリックします。
8. **[設定の変更]**ページで、**[OK]** をクリックします。

[レジストリを使用:]

一部の Windows オペレーティングシステムでは、次のレジストリキーのいずれかを編集し、**[Disabled]** 設定を変更することによって、Windows のエラーレポート機能を無効にすることができます。設定可能な値である Disabled とともに REG_DWORD と入力してください。

- HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Windows\Windows Error Reporting
- HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Microsoft\Windows\Windows Error Reporting

詳しくは、Microsoft 社の Web サイト <http://msdn.microsoft.com/en-us/library/bb513638%28v=vs.85%29.aspx> を参照してください。

- **問題:** SMH 32 ビットサービスが、SUSE Linux Enterprise Server 11 SP1, 64 ビットや、Red Hat Linux Enterprise Server 6, 64 ビットのような 64 ビットオペレーティングシステムが動作するシステム上では起動しません。
説明: SMH は、デフォルト構成で正常にインストールされます。ただし、`/etc/init.d/hpsmhd status` コマンドを実行してステータスを確認すると、SMH ステータスが未使用と表示され、SMH サービスを起動できません。
回避策: この問題を解決するには、必要なすべての 32 ビットライブラリパッケージがシステムにインストールされていることを確認します。そうでない場合は、インストールされていないパッケージをインストールしてください。
- **問題:** Windows XP Service Pack 2 をインストールすると、SMH にアクセスできなくなります。
説明: SMH にアクセスできなくなるほか、Systems Insight Manager および Hewlett Packard Enterprise バージョンコントロールレポジトリマネージャーにもアクセスできなくなります。Windows XP Service Pack 2 は、ソフトウェアファイアウォールを実装しており、このため、ブラウザーや他のクライアントが、バージョンコントロールレポジトリマネージャーにアクセスするために必要なポートにアクセスできません。
回避策: この問題を解決するには、**[例外]**を使用してファイアウォールを構成し、Systems Insight Manager、バージョンコントロールエージェント、および他のバージョンコント

ロールレポジトリマネージャーが使用するポート経由でアクセスできるようにする必要があります。

以下の操作をおすすめします。

1. **[スタート] ⇒ [設定] ⇒ [コントロールパネル]**の順に選択します。
2. **[Windows ファイアウォール]**をダブルクリックします。ファイアウォールの構成ウィンドウが開きます。
3. **[例外]**を選択します。
4. **[ポートの追加]**をクリックし、製品名とポート番号を入力します。
ファイアウォール保護に、次の例外を追加します。

表 2 ファイアウォール保護

| 製品 | ポート番号 |
|-----------|--------------------|
| SMH 非セキュア | ポート 2301、オプションのポート |
| SMH セキュア | ポート 2381 |

5. **[OK]**をクリックして設定を保存し、**[ポートの追加]** ダイアログボックスを閉じます。
6. **[OK]**をクリックして設定を保存し、**[Windows ファイアウォール]** ダイアログボックスを閉じます。

この構成によって、SP2のセキュリティ強化はデフォルトのままになりますが、トラフィックは上記のポートを経由できるようになります。バージョンコントロールレポジトリマネージャーにアクセスするブラウザーや他のクライアントから正しく通信するには、セキュアポートと非セキュアポートの両方を追加する必要があります。

- **問題：**Windows XP システムに SMH をインストールしている間、グループ名にアンパサンドを使用すると、インストール後に SMH にログインできません。

回避策：グループ名にアンパサンドを使用しないことをおすすめします。

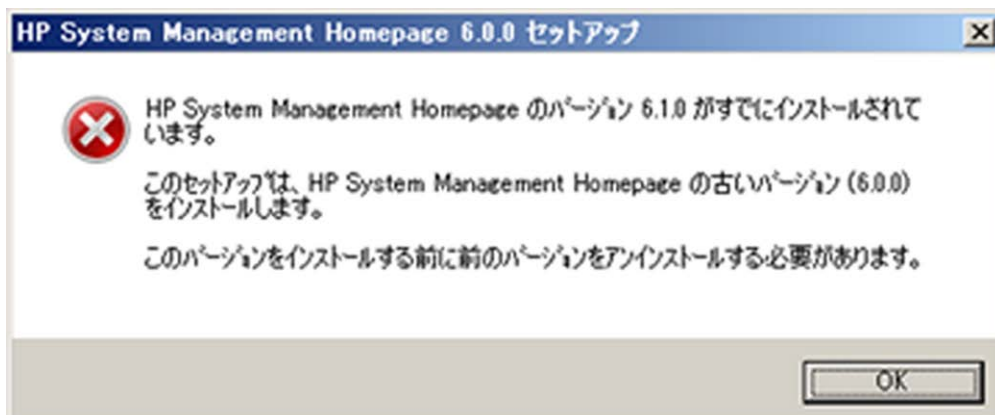
- **問題：**Systems Insight Manager 機能では、Systems Insight Manager システムを指定する際に、ASCII 拡張文字の使用がサポートされません。

説明：ASCII 拡張文字を使用すると、信頼関係が構築できません。

回避策：Systems Insight Manager システムを指定するときには、ASCII 拡張文字を使用しないことをおすすめします。

- **問題：**x86_64 Windows プラットフォームで、SMH 6.1 以降から 6.0 への強制ダウングレードが失敗します。

説明：cp010944.exe /f コマンドを使用して、SMH をバージョン 6.1 以降から 6.0 に強制的にダウングレードすると、次のエラーメッセージが表示されます。



注記: このエラーは、Windows x86_64 プラットフォームで SMH 6.0 へのダウングレードを試みる場合にのみ発生します。

回避策: 次の手順に従うことをおすすめします。この手順では、SMHのバージョンを6.0に手動でダウングレードします。

1. SMH 6.0 コンポーネントの cp010944.exe を、たとえば、**C:\abc** フォルダに抽出します。
2. コマンドプロンプトで **C:\abc** フォルダに移動します。setup.exe /s /removeonly /f1 C:\abc コマンドを実行します。このコマンドにより、現在インストールされているバージョンの SMH が削除されます。
3. 削除後、cp010944.exe ファイルを使用して、通常の手順で SMH 6.0 をインストールします。

- **問題:** SMH 6.0 以降は次のものをサポートします。

- SSLv2

注記: SSLv2 はデフォルトで無効になっており、7.2 以降では有効にすることができません。

- SSLv3

- TLSv1

回避策: SMH で SSLv2 を使用可能にするには、以下の手順に従ってください。

1. 念のため、既存の smhpd.xml ファイルを別のディレクトリにコピーします。
2. 手動でタグを追加します。

注記: この構成をサーバーのグループ上で行うと、SIMのエージェント設定のレプリケート機能によって影響を受ける設定に含まれます。ソースサーバーは以下の手順を使用して手動で構成する必要がある、その設定を SIMにより他のシステムに同時にインストールできます。

- a. 起動ドライブの\hp\hpsmh\conf ディレクトリの smhpd.xml をテキストエディターで開きます。
- b. <system-management-homepage> と </system-management-homepage> タグの間に次の行を追加します。

```
<disable-ssl2>False</disable-ssl2>
```

- c. ファイルを保存します。

3. SMH サービスを再起動します。

- **Windows システムのみ:**

問題: システムが、システム資源がサポートすることができるスレッドまたはプロセスの数の限界近くで実行している場合、SMH を起動することができないことがあります。

説明: SMH6.0は、この問題を回避するために必要なスレッドの数を減らす方法を提供します。この設定を変更すると、SMH の応答やスループットに影響があります。

回避策: この設定を変更するには、smhconfig コマンドを使用して最大スレッド値を設定します。

1. 次のコマンドを実行して、SMH の最大スレッド値を設定します。smhconfig max-threads=value (ここで、max-threads の値範囲は 64~512)
2. 次のコマンドを実行して SMH サービスを再起動します。smhconfig -r
3. 念のため、既存の smhpd.xml ファイルを別のディレクトリにコピーします。
4. 手動でタグを追加します。
 - a. 起動ドライブの\hp\hpsmh\conf ディレクトリの smhpd.xml をテキストエディターで開きます。

- b. <system-management-homepage> と </system-management-homepage> タグの間に次の行を追加します。

```
<max-threads>value</max-threads>
```

注記： value には、Windows システムの場合は 64～512 を入力します。Windows システムのデフォルト値は、250 です。

- c. ファイルを保存します。
5. SMH サービスを再起動します。

3 サポートと他のリソース

この項では、System Management Homepage (SMH) に関するサポート、連絡先情報、お客様にとって有用な情報について説明します。

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトを訪問してください。

Contact HPE Support Worldwide

- ドキュメントやサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトを訪問してください。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

収集する情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、およびシリアル番号
- オペレーティングシステムの名前およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートとログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品には、製品インターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムがあります。ご使用の製品のドキュメントを確認して推奨されるソフトウェアのアップデート方法を確認してください。
- 製品アップデートをダウンロードするには、次のいずれかにアクセスします。

- Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[メールニュース配信登録]** ページ：

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- Software Depot の Web サイト：

[Hewlett Packard Enterprise Software Depot](#)

- お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約、Care Pack、および保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[More Information on Access to Support Materials]** ページに移動します。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

- ① **重要:** Hewlett Packard Enterprise サポートセンターを経由して一部のアップデートにアクセスするときに、製品資格が必要となる場合があります。関連する資格を使って HP パサポートをセットアップしておいてください。

ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録

HPE Insight software には、1 年間、24 時間年中無休の HPE ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが含まれています。このサービスは、ソフトウェアの実装および操作に関する問題を解決するための支援情報についての Hewlett Packard Enterprise テクニカルリソースへのアクセスを提供します。

このサービスはさらにソフトウェアアップデートおよびリファレンスマニュアルへのアクセスを提供します。Hewlett Packard Enterprise から、電子形式のデータとして入手することができます。電子ライセンスの使用権を購入した場合、電子アップデートが利用できます。

このサービスを使用すると、Insight software のお客様は、効率の良い問題解決、ソフトウェアアップデートのプロアクティブな通知と入手を受けることができます。このサービスについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/services/insight-ja>

ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法

登録後、サービスの窓口の電話番号と SAID (Service Agreement Identifier) を含むサービス契約書がメールで送付されます。テクニカルサポートに連絡する場合は、SAID が必要です。また SAID を使用して、ソフトウェアアップデートマネージャー (SUM) の Web サイト **Hewlett Packard Enterprise サポートセンター** から、オンラインでの契約内容の確認が可能です。

保証情報

Hewlett Packard Enterprise は購入日から 90 日以内であれば、問題のある配布メディアを交換します。この保証は、すべての Insight software 製品に適用されます。

Hewlett Packard Enterprise 製品販売店

最寄りの Hewlett Packard Enterprise 製品販売店は、次の方法で調べることができます。

- 米国内の場合は、「Hewlett Packard Enterprise U.S. Service Locator」の Web サイトを参照してください。

パートナーを探す

- 他の地域では、「Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide」の Web サイトを参照してください。

Contact HPE Support Worldwide

Web サイト

| Web サイト | リンク |
|--|---|
| Hewlett Packard Enterprise Information Library | http://www.hpe.com/info/enterprise/docs |
| Hewlett Packard Enterprise サポートセンター | http://www.hpe.com/support/hpesc |
| Contact Hewlett Packard Enterprise Support Worldwide | http://www.hpe.com/assistance |
| サブスクリプションサービス/サポートアラート | http://www.hpe.com/support/e-updates-ja |
| Software Depot | http://www.hpe.com/support/softwaredepot |
| カスタマーセルフリペア | http://www.hpe.com/support/selfrepair |
| Insight Remote Support | http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs |
| Serviceguard Solutions for HP-UX | http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs |

カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise のカスタマーセルフリペア（CSR）プログラムは、お客様自身が製品の修理を行えるようサポートするサービスです。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSR が適用されません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証、Care Pack サービス、またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#)

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

System Management Homepage（SMH）のドキュメントの詳細

System Management Homepage（SMH）のドキュメントとその他のガイドについて詳しくは、**[System Management Homepage（SMH）ソフトウェア](#)** を参照してください。

4 内容の更新、リリースの更新、およびこのドキュメントのエディションにおける新規または変更された情報

以下の項では、System Management Homepage (SMH) リリースに関する内容の更新、リリースの更新、およびこのドキュメントのエディションにおける新規または変更された情報をリストします。

Linux および Windows 用 2016 年 4 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 7.5 Update 5 では、製品が次のように強化されています。次の変更点のリストは、特に明記されていないかぎり、Windows と Linux の両方のバージョンに適用されます。

- 次の新しいブラウザーがサポートされました。
 - Google Chrome 47.0
 - Internet Explorer 11
- 次のオペレーティングシステムのサポート：
 - Red Hat Enterprise Linux 7.2 をサポートします
 - SUSE Linux Enterprise Server 12.1 をサポートします
- 次のコンポーネントが更新されました。
 - PHP のバージョンが 5.5.31 に更新されました。
 - Curl のバージョンが 7.47.0 に更新されました。
 - OpenSSL のバージョンが 1.0.2g に更新されました。
- SSL プロトコル-ユーザーは、すべてのプロトコルをセミコロンで区切り、有効にする場合は '+'、無効にする場合は '-' を指定して列挙することで、SSL プロトコルを有効または無効にすることができます。

例: `smhconfig -H -SSLv2;-SSLv3;+TLSv1;+TLSv1.1;+TLSv1.2`

この例では、SSLv2 と SSLv3 は無効にされ、TLSv1、TLSv1.1、TLSv1.2 は有効にされます。

注記: すべてのプロトコルを有効にするには、All コマンドを使用します。

Linux および Windows 用 2015 年 8 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 7.5 Update 1 では、製品が次のように強化されています。次の変更点のリストは、特に明記されていないかぎり、Windows と Linux の両方のバージョンに適用されます。

- 次の新しいブラウザーがサポートされました。
 - Google Chrome 43.0
 - Firefox 38 ESR
- 新しいオペレーティングシステムのサポート：
 - Red Hat カーネルベースの仮想マシンをサポートします
 - Red Hat Enterprise Linux 7 update 1、x86 および AMD64/EMT64 用をサポートします

- Red Hat Enterprise Linux 7、x86 および AMD64/EMT64 用をサポートします

Linux および Windows 用 2015 年 3 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 7.4 Update 2 では、製品が次のように強化されています。次の変更点のリストは、特に明記されていないかぎり、Windows と Linux の両方のバージョンに適用されます。

- 次の新しいブラウザがサポートされました。
 - Google Chrome 40.0
 - Firefox 31 ESR
- 新しいオペレーティングシステムのサポート：
 - Red Hat Enterprise Linux 5.11 for x64 および AMD64/EM64T をサポートします。
 - Red Hat Enterprise Linux 6.6 for x64 および AMD64/EM64T をサポートします。
 - SUSE Linux Enterprise Server 12 をサポートします。

Linux および Windows 用 2013 年 12 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 7.3 では、製品が次のように強化されています。次の変更点のリストは、特に明記されていないかぎり、Windows と Linux の両方のバージョンに適用されます。

- 拡張機能：
 - 簡体字中国語ローカリゼーションが有効になりました。
 - 英語 OLH ファイルが更新されました。
 - 次のコンポーネントが更新されました。
 - Apache のバージョンが 2.4.6 に更新されました。
 - Libxml2 のバージョンが 2.9.1 に更新されました。
 - OpenSSL のバージョンが 1.0.1e に更新されました。
 - Curl のバージョンが 7.32.0 に更新されました。
 - PHP のバージョンが 5.5.2 に更新されました。
 - zlib のバージョンが 1.2.8 に更新されました。

Linux および Windows 2013 年 10 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 7.2.2 では、次のように製品が強化され、不具合が修正されています。次の変更点のリストは、特に明記されていないかぎり、Windows と Linux の両方のバージョンに適用されます。

- 拡張機能：
 - SUSE Linux Enterprise Server 11 SP3 のサポートが有効になりました。
 - PHP のバージョンが 5.4.11 に更新されました。
 - libxml2 のバージョンが 2.9.0 に更新されました（Windows の場合）。
 - cURL のバージョンが 7.28.1 に更新されました。

- libxslt のバージョンが 1.1.28 に更新されました。
- 不具合の修正：
 - 管理者以外の権限からローカル管理権限への昇格を許可するセキュリティ問題を修正しました。

Linux および Windows 2013 年 1 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 7.2 では、製品が強化され、不具合が修正されています。次の変更点のリストは、特に明記されていないかぎり、Windows と Linux の両方のバージョンに適用されます。

- 拡張機能：
 - 証明書管理が改善されました。
 - 以下のブラウザのサポートの追加：
 - Firefox ESR 17.0
 - Internet Explorer 10.0
 - Apache のバージョンが 2.4.3 に更新されました。
 - TLS (Transport Layer Security) プロトコル 1.1/1.2 のサポートが有効になりました。
 - オンラインヘルプ用ユーザーインターフェイスの改良
 - SMH の構成をより容易に管理するための CLI オプションの改善
 - セキュリティ保護された HTTP 通信
- 不具合の修正：
 - オペレーティングシステムのログイン機能が改善されました。

Linux および Windows 2012 年 6 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 7.1 では、製品が強化され、不具合が修正されています。次の変更点のリストは、特に明記されていないかぎり、Windows と Linux の両方のバージョンに適用されます。

- Web アプリケーションが利用可能かどうかに関する情報とその読み込みに関する統計情報が表示されるように強化された [Web アプリケーション] ページ。
- 次の新しいブラウザがサポートされました。
 - Firefox 9.0
 - Firefox 10.0
- 新しいオペレーティングシステムのサポート：
 - Windows Multipoint Server 2011、x64 用
 - Windows 2008 R2 SP1 - Server Core
 - Red Hat Enterprise Linux 6.2
 - Red Hat カーネルベースの仮想マシン
 - SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 SP2

- オープンソース製品が強化されました。
 - PHP のバージョンが 5.3.8 から 5.3.10 に更新されました。
 - libxml2 がバージョン 2.7.8 に更新されました。
 - OpenSSL のバージョンが 1.0.0e から 1.0.0h に更新されました。
 - cURL のバージョンが 7.21.7 から 7.24.0 に更新されました。

注記: 可能な限りの修正を加えた情報が公開され、System Management Homepage が使用する Web サーバーのバージョン情報の入手に利用できません。

- HTTP 応答の安全な処理

Linux および Windows 2012 年 2 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 7.0 では、製品が強化され、内部で見つかった不具合が修正されています。次の変更点のリストは、特に明記されていないかぎり、Windows と Linux の両方のバージョンに適用されます。

- SMH の構成をより容易に管理するための CLI オプションの改善
- CLI オプションが改善され、Kerberos グループを検証できるようになりました（Windows のみ）。
- ログメッセージが明快になりました。
- HTTP リンクが更新されました。
- 次のコンポーネントの処理が改善されました。
 - SMH 構成ファイルおよび設定
 - IP フィールド
 - CLI オプション
 - メモリリソース
 - 信頼済み証明書の取り消し
- 次の新機能がサポートされました。
 - HTTP 要求および応答の安全な処理
 - SMH PKCS（Public-Key Cryptography Standards）データのローカリティおよび状態情報を変更するためのコマンドラインオプション
- 次の新しいブラウザがサポートされました。
 - Microsoft Internet Explorer 9.0
 - Firefox 6.0
 - Firefox 7.0
 - Firefox 8.0
- オープンソース製品が強化されました。
 - PHP のバージョンが 5.3.3 から 5.3.8 に更新されました。

- OpenSSL のバージョンが 0.9.8n から 1.0.0e に更新されました。
- cURL のバージョンが 7.21.3 から 7.21.7 に更新されました。
- Apache のバージョンが 2.2.15 から 2.2.21 に更新されました。

注記: 可能な限りの修正を加えた情報が公開され、System Management Homepage が使用する Web サーバーのバージョン情報の入手に利用できます。

Linux および Windows 用 2011 年 4 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 6.3 では、製品が次のように強化されています。

- SMH で現在の設定を表示するためのコマンドラインインターフェイスオプション。
- SMH 自己署名証明書の強化された管理。
- SMH WebApps 用の一元管理された API ログイン。
- Windows x86 および x64 バージョン用のプラットフォーム固有の設定ファイル（Windows OS 専用）。
- 強化されたインストーラーログ処理（Windows OS 専用）。
- 強化された Apache 起動問題処理（Windows OS 専用）。
- IPv6 を有効にするサポートにより Integrity システム上で Tomcat 統合を有効にするためのサポート（Windows OS 専用）。
- デフォルトで 120 秒をサポートするための UI タイムアウトの強化および UI タイムアウト警告メッセージの強化。
- 新しいオペレーティングシステムのサポート：
 - Microsoft Windows Server 2011 Small Business
 - Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1
 - Red Hat Enterprise Linux 6
 - Red Hat Enterprise Linux 5 update 6、x86 および AMD64/EMT64 用

次のオープンソース製品が強化されました。

- PHP のバージョンが 5.3.3 に更新されました。
- libxml2 のバージョンが 2.7.8 に更新されました。

注記: 可能な限りの修正を加えた情報が公開され、System Management Homepage が使用する Web サーバーのバージョン情報の入手に利用できます。

Linux および Windows 用 2010 年 9 月リリース

Linux および Windows 用の SMH 6.2 では、製品が次のように強化されています。

- CLI ベースの構成可能なログインオプションによって、smh_enc.log のログ重大度を構成できます。smh_enc.log で設定された重大度以上のログメッセージだけが記録されません。
- SMH インストーラーで **[ポート 2301]** を有効/無効にできるオプション（Windows のみ）
- 自動開始モードのサポート（Linux のみ）
- SSL 暗号スイートを構成できる CLI ベースのオプション

- SMH ホームページの [システムステータス] タブと [全体のシステム概要] タブが、それぞれ [全体のシステムヘルスステータス] と [コンポーネントのステータス概要] に変更されました。
- 向上した UI タイムアウト処理と `smh_enc.log` での詳細な Web アプリケーションタイムアウトロギング
- GUI および CLI によるセキュリティ設定変更のロギングのサポート

次のオープンソース製品が強化されました。

- OpenSSL がバージョン 0.9.8n に更新されました。
- Apache のバージョンが 2.2.15 に更新されました。
- PHP のバージョンが 5.2.13 に更新されました。

注記: 可能な限りの修正を加えた情報が公開され、System Management Homepage が使用する Web サーバーのバージョン情報の入手に利用できます。

Linux および Windows 用 2010 年 3 月リリース

SMH 6.1.0 は、以前の SMH Windows および Linux リリースの機能に加え、次の機能を提供します。

- 次のオペレーティングシステムをサポートします。
 - Microsoft Windows 7、x86 および x64 用
 - Microsoft Windows 2008 R2 Server core
 - Microsoft Windows Vista SP2
 - SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11、x86 および AMD64/EMT64T 用
 - SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 SP2 以降、x86 および AMD64/EMT64T 用
 - SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 9 SP4、x86 および AMD64/EMT64T 用
 - XEN 5.5 update 2
- 次のオープンソース製品が強化されました。
 - OpenSSL のバージョンが 0.9.81 に更新されました。
 - Namazu (Windows のみ) がバージョン 2.0.20 に更新されました。

注記: 可能な限りの修正を加えた情報が公開され、System Management Homepage が使用する Web サーバーのバージョン情報の入手に利用できます。

- Firefox Web ブラウザーバージョン 3 および 3.5 のサポート

Linux および Windows 用 2009 年 11 月リリース

以下では、2009 年 11 月にリリースされた Linux および Windows 用の SMH の製品強化について説明します。

- 新しいオペレーティングシステムのサポート：
 - Microsoft Windows Server 7、x86 および x64 用
 - Microsoft Windows Server 2008 R2、x64 用

- Microsoft Windows Server 2008 R2 for 64 ビット Itanium ベースシステム
- Red Hat Enterprise Linux 5 update 3、x86 および AMD64/EMT64T 用
- Red Hat Enterprise Linux 5 update 4、x86 および AMD64/EMT64T 用
- VMware ESX 4.0
- Internet Explorer Web ブラウザーバージョン 8 のサポート
- SMHlogreader ツールのサポート
- Native x64 のサポート

Linux および Windows 2009 年 1 月リリース

SMH 3.0 では、以前の SMH リリースに加え次の機能が追加されました。

- 新しいユーザーインターフェイス
- Windows での Kerberos のサポート
- コマンドラインインターフェイスのサポート
- ポート 2301 の無効化機能
- ユーザー構成可能なユーザーインターフェイスプロパティ
- セッションおよびユーザーインターフェイスタイムアウトのユーザー制御
- ログのローカリゼーション
- IPv6 のサポート

次のオペレーティングシステムをサポートします。

- **HPE ProLiant サーバー**
 - Microsoft Windows Server 2008 Essential Business
 - Microsoft Windows Server HPC 2008
 - Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition SP2、x86 および x64 用
 - Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition SP2、x86 および x64 用
 - Microsoft Windows Server 2003, Web Edition SP2
 - Microsoft Windows Server 2003 Enterprise Edition SP2、x86 および x64 用
 - Microsoft Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition SP2、x86 および x64 用
 - Microsoft Windows Server 2003 Small Business、Standard および Premium R2
 - Microsoft Windows Vista Business Edition
 - Microsoft Windows Vista Enterprise Edition
 - Microsoft Windows Vista Ultimate Edition
 - Microsoft Windows XP SP2
 - Red Hat Enterprise Linux 4 update 8 以降、x86 および AMD64/EMT64T 用
 - Oracle Enterprise Linux

- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11、x86 および AMD64/EMT64T 用
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 SP2 以降、x86 および AMD64/EMT64T 用
- VMware ESX 3.5 update 5
- Citrix XEN 5.6
- **HPE Integrity サーバー**
 - Microsoft Windows Server 2008 for Itanium-based Systems、64 ビット

5 Hewlett Packard Enterprise が所有していないソフトウェアコンポーネントについてのセキュリティ報告およびアラートポリシー

Hewlett Packard Enterprise 製品には、オープンソースソフトウェア（OpenSSL など）や他社製ソフトウェア（Java など）が含まれることがあります。Hewlett Packard Enterprise では、System Management Homepage のエンドユーザー使用許諾契約書（EULA）にリストされている Hewlett Packard Enterprise が所有していないソフトウェアコンポーネントが System Management Homepage とともに収録されていることを明らかにしています。

EULA を見るには、テキストエディターを使用して `eula_license.xml` ファイルを開き、他社製ソフトウェアを検索してください。

Hewlett Packard Enterprise では、EULA でリストされているソフトウェアコンポーネントのセキュリティ報告について、Hewlett Packard Enterprise 製品に対するサポートと同レベルのサポートで対応しています。また、セキュリティ上の問題の削減に取り組み、そのような問題が発生してもユーザーがそのリスクを軽減できるよう支援しています。

Hewlett Packard Enterprise は、セキュリティ上の問題が発見された場合に備え十分定義されたプロセスを用意しており、その成果がセキュリティ報告の公開です。セキュリティ報告には、問題に関する高レベルでの説明とセキュリティ上の問題を軽減するための方法の解説が掲載されています。

セキュリティ報告への登録

Hewlett Packard Enterprise からセキュリティ情報（報告とアラート）を受け取るには、以下の手順に従ってください。

1. ブラウザーを起動して、Hewlett Packard Enterprise のホームページ <https://h41360.www4.hp.com/alerts-signup.php?country=JP=JA> にアクセスします。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - **[今すぐメールニュースに登録]** の下の [E メールアドレス]、[姓]、[名]、製品情報を入力し、**[配信の登録]** をクリックします。
 - **[すでに配信登録済みの場合]** からサインインして、好みのカスタマイズやプロフィールの更新をしてください。

6 関連情報

この章では、SMH の関連情報について詳細に説明します。

SMH ドキュメント

SMH について詳しくは、次のソースを参照してください。

- 『**Hewlett Packard Enterprise System Management Homepage リリースノート**』
リリースノートには、リリースの最新情報、機能と変更点、システム要件、および既知の問題についての説明が記載されています。リリースノートは、Hewlett Packard Enterprise テクニカルドキュメントの Web サイト [HP-UX Product Manuals](#) に掲載されています。最新のドキュメントは [HP-UX Operating Systems] を選択し、以前のバージョンのドキュメントは [HP-UX 11i v1] または [HP-UX 11i v2] を選択します。また、Linux および Windows オペレーティングシステム用のリリースの場合、リリースノートは、SMH の Web ページ [System Management Homepage のドキュメント](#) から利用可能です。
- 『**Hewlett Packard Enterprise System Management Homepage ヘルプシステム**』
このヘルプシステムには、SMH の使用、保守、トラブルシューティングに関するすべてのドキュメントが含まれています。SMH で、[\[ヘルプ\]](#)メニューにアクセスしてください。
- 『**Hewlett Packard Enterprise System Management Homepage インストールガイド**』
インストールガイドには、SMH をインストールして使用開始するための情報が記載されています。このガイドでは、SMH に関連する基本的な概念、定義、および機能について説明しています。インストールガイドは、Hewlett Packard Enterprise テクニカルドキュメントの Web サイト [HP-UX Product Manuals](#) に掲載されています。最新のドキュメントは [HP-UX Operating Systems] を選択し、以前のバージョンのドキュメントは [HP-UX 11i v1] または [HP-UX 11i v2] を選択します。また、Linux および Windows オペレーティングシステム用のリリースの場合、インストールガイドは、Management CD および SMH の Web ページ [System Management Homepage のドキュメント](#) から利用可能です。
- 『**Hewlett Packard Enterprise System Management Homepage ユーザーガイド**』
ユーザーガイドには、SMH の使用、保守、トラブルシューティングに関するすべてのドキュメントが含まれています。ユーザーガイドは、テクニカルドキュメントの Web サイト [HP-UX Product Manuals](#) に掲載されています。最新のドキュメントは [HP-UX Operating Systems] を選択し、以前のバージョンのドキュメントは [HP-UX 11i v1] または [HP-UX 11i v2] を選択します。また、Linux および Windows オペレーティングシステム用のリリースの場合、ユーザーガイドは、SMH の Web ページ [System Management Homepage のドキュメント](#) から利用可能です。
- 『**Simplifying single-system management on HP-UX 11i System Management Homepage (SMH)**』
この White Paper では、SMH とそのプラグインを紹介し、SMH プラグインの事例で、SMH で提供される機能を取り上げています。White Paper は、テクニカルドキュメントの Web サイト [HP-UX Product Manuals](#) に掲載されています。最新のドキュメントは [HP-UX Operating Systems] を選択し、以前のバージョンのドキュメントは [HP-UX 11i v1] または [HP-UX 11i v2] を選択し、ドキュメント名『Simplifying single-system management on HP-UX 11i - System Management Homepage (SMH)』で検索します。
- 『**Safe and Powerful: Security in HP-UX System Management Homepage (SMH)**』
この White Paper では、SMH のセキュリティ面の概要を説明しています。アプリケーションが提供するさまざまなセキュリティ機能について説明し、システム管理者に役立つセキュリティ関連のヒントを紹介し、White Paper は、テクニカルドキュメントの Web サイト [HP-UX Product Manuals](#) に掲載されています。最新のドキュメントは [HP-UX Operating Systems] を選択し、以前のバージョンのドキュメントは [HP-UX 11i v1] または

[HP-UX 11i v2] を選択し、ドキュメント名『Safe and Powerful: Security in HP-UX System Management Homepage (SMH)』で検索します。

- **hpsmh (1m) マンページ**

HP-UX では、コマンドラインから `man hpsmh` コマンドを使用してマンページが利用できます。この情報は、Linux および Windows オペレーティングシステムでは利用できません。

- **smhstartconfig (1M) マンページ**

HP-UX オペレーティングシステムでは、CLI から `man smhstartconfig` コマンドを使用してマンページを利用できます。この情報は、Linux および Windows オペレーティングシステムでは利用できません。

- **sam (1M) マンページ**

HP-UX オペレーティングシステムでは、CLI から `man sam` コマンドを使用してマンページを利用できます。この情報は、Linux および Windows オペレーティングシステムでは利用できません。

- **smh (1m) マンページ**

このコマンドは、HP-UX 11i v3 (B.11.31) のみで使用可能です。これは、**sam (1m)** コマンドの拡張版です。HP-UX オペレーティングシステムでは、CLI から `man smh` コマンドを使用してマンページを利用できます。この情報は、Linux および Windows オペレーティングシステムでは利用できません。

- **smhassist (1m) マンページ**

`smhassist` コマンドを使用して、SMH の構成を確認し、依存関係にあるソフトウェアや、パッチ、構成エラーがないかどうかを確認できます。HP-UX 11i v3 (B.11.31) および HP-UX 11i v2 (B.11.23) オペレーティングシステムでは、マンページは `man smhassist` コマンドを使用して、CLI から利用できます。この情報は、HP-UX 11i v1 (B.11.11)、Linux および Windows オペレーティングシステムでは使用できません。

- **smhconfig (1m) マンページ**

CLI の `smhconfig` を使用して、コマンドライン経由で構成値を変更できます。CLI では、管理者権限を持つユーザーに構成オプションを変更するためのアクセス権限が与えられます。これには、構成オプションを変更可能にするのに必要なセキュリティチェックが含まれます。HP-UX 11i v3 (B.11.31) および HP-UX 11i v2 (B.11.23) オペレーティングシステムでは、`man smhassist` コマンドを使用してマンページを利用できます。この情報は、HP-UX 11i v1 (B.11.11)、Linux および Windows オペレーティングシステムでは使用できません。

- **System Management Homepage の Web サイト**

Web サイトは、SMH の情報および製品へのリンクを提供します。SMH の Web サイト (**[HPE System Management Homepage Software](#)** (英語)) に移動します。

- **Insight Essentials ソフトウェアページ**

この Web ページは、<http://www.hpe.com/info/servermanagement-ja> にあります。

HP-UX ドキュメント

HP-UX 環境での SMH の使用について詳しくは、次のソースを参照してください。Instant Information DVD およびテクニカルドキュメントの Web サイト **[HP-UX Product Manuals](#)** で参照できます。

- **HP-UX 11i インストール/アップデートガイド (11i v1、11i v2、11i v3)**

HP-UX にインストールまたはアップデートする方法について説明します。

- **HP-UX 11i リリースノート (11i v1、11i v2、11i v3)**
SMH の情報を含む HP-UX 11i の新しい機能および機能的な変更について説明しています。
- HP-UX オペレーティングシステムのリリースドキュメントは、**HP-UX Product Manuals** で最新版を確認してください。